

医療インバウンド コンサルティング

医療を目的とする訪日外国人の受入を検討している医療法人に対し、受入れ体制の構築をサポートいたします。

訪日外国人受診者・患者を受け入れるためには、様々な準備が必要です。

- ・医療法人側で準備する受入れに必要なリソースは？
- ・全て医療コーディネーターにお任せすればいいの？
- ・健診と治療の取り扱いは違うの？
- ・日本在住の方との受入れ調整はどのようにしたらよいか？

など、訪日外国人が、日本で医療を受けるために必要な 院内体制、受付、予約、支払精算などの一連の業務の準備を、施設側の環境を踏まえて、一緒に整えて参ります。

受入れ体制構築までの手順

① 訪日外国人の受入領域の確認（健診、治療、透析など）

② <健診領域の場合> 健診プログラムの設定とパッケージ化
<治療領域の場合> 受入標榜科と受入スキームの調整

当センターのサポート範囲の確認をいたします。

③ 問診票や健診結果等の使用書類の選別と多言語化

使用する全ての書類を多言語化する必要はありません。

④ ホームページ等へのPRに関する掲載内容のすり合わせ

当センターのホームページへの掲載や医療機関との連携を調整いたします。

⑤ 契約書作成 & 締結

契約書のひな形は当センターで準備しております。

⑥ 受け入れ開始

留意事項

- ・健診（健常者の受入れ）と治療（患者の受入れ）では、取り扱いスキームが異なります。詳細はお問い合わせください。
- ・ご相談を頂いてから受入体制が整うまでには、コンサルティング代金を頂戴します。
- ・問診票などの多言語化については、実費費用が発生します。
- ・受入体制を整えることは、その後の集患・送患をお約束するものではありません。

詳しくは当センターまでお問い合わせください。

ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター <https://j-medical-healthcare.com/contact/>